

【1 分解説】グローバルリスク報告書とは？

総合調査部 マクロ環境調査グループ 副主任研究員 牧之内 芽衣

「グローバルリスク報告書」とは、世界経済フォーラム（WEF）が毎年1月に、スイスのダボスで開催される年次総会に先立って公表している、世界的なリスクに関するレポートです。2006年から発行されており、2023年版は18版です。

発生した場合に世界的に影響を与える可能性があるリスクをランキング化しており、2023年版では短期的（今後2年間）には生活費の増大が、長期的（今後10年間）には気候変動が最大の懸念事項となっています（資料）。

特に生物多様性の喪失は今後10年間で最も急速に悪化するグローバルリスクの一つと考えられています。環境関連のリスクは今後10年のリスクのトップ10に6項目ランクインしており、4位には「生物多様性の喪失や生態系の崩壊」が入っています。

生物多様性の損失の危機は過小評価されていることが近年指摘されており、気候変動も相まって、今後10年で急速に深刻化する危険性が示唆されています。

※本稿は、週刊エコノミスト(10月3日号)への寄稿を基に作成しています。

資料 グローバルリスクの短期・長期的な重要度ランキング(2023)



(出所) WEF「グローバルリスク報告書 2023」より第一生命経済研究所作成

関連レポート

・「ネイチャーポジティブとは何か(1)～再び集まる生物多様性への注目～」
 (2023年3月) <https://www.dlri.co.jp/report/ld/233470.html>